

令和2年10月9日 モエレ沼陸上競技場にて



丘 珠 高 だ よ り

PTA広報委員会発行
第121号



校長
飯田 知男

「分からない」を放置することからの卒業

「高校卒業後は社会人」。これは、私の尊敬するある先輩教員が卒業の季節によく口にした言葉です。「いや、まだ十八歳です」「まだ仕事する訳じゃないし」という反論は成立しませんが、高校を卒業すると、どのような進路であれ、もう「社会人」という考え方は、

さて、世の中「分からない」だらけですが、分からないことを認識した時点で、人に聞くなり、調べるなりして解決するのと、そのまま分からない状態を放置するのは社会人としては雲泥の差です。自身の仕事や学業に責任を持って取り組むためには、まず分からないことを放置せず、必ず解消していく必要があります。

同じことを何度教わっても忘れてしまうのは、社会人として大問題。しかし、技術革新や情報化が進む今日、どのような業種・学問・組織であっても、一歩先を行こうとすれば、分からないことが発生するものです。勉強を重ねていたとしても分からないことは出てくるものであり、不明点・疑問点があること自体は決して恥ずかしいことではないのです。やはり「理解できていない状態を放置すること」が問題なのです。

そうは言っても、分からないことをその都度、解消する実践ができていない人は多いはず。では、どうしたら良いのか。まずは「何が分からないのかを明確にすること」が第一ステップです。ある本の中で、社会人が陥る「分からない」を次のように分類していました。

①言葉の意味、またはその言葉の背景が分からない（知識の問題）

②なぜそうなるのかの理屈が分からない（思考力の問題）

③それを行う意図、目的が分からない（情報処理力の問題）

これが自覚できれば「分からない」を放置してそのまま先送りする」という社会人として極めて無責任な行為の回避に近づけます。

結びになりますが、この度、丘珠高校を卒業する第44期生の皆さん、そして、これまでお子様を温かく見守ってこられた保護者の方々に心よりお祝いを申し上げます。

高校生のうちは大目に見られていたことが、段々と許されなくなるのも卒業の時。今年の卒業生たちもそんな時を迎えました。

卒業生のみなさんへ



PTA会長
嶋宮 清香

第44期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。丘珠高校での3年間はどうか？

「話には聞いていたけれど、本当にあつたと言った」と思っているのではないのでしょうか。制服、友達、自転車通学、学校祭、体育祭、マラソン大会などなど、何もかもが目新しく、高校生だからこそキラキラとした眩しい出来事がたくさんあったのではないかと思います。もちろん楽しいことばかりではなく、嫌なことや辛いこと、誰にも言えず悩んだこともあったでしょう。そんなぎゅつと詰まった3年間の高校生活はみなさんにとってかけがえのない時間なんですよ。残念ながらもう戻れないんです。だからこそこの先、迷い、悩み、立ち止まった時、「あの時はよかった」とただ嘆くのではなく、「あの頃よりもっと楽しもう！」と思いつくすきっかけにしてください。

「大人って長いよー」というCMのセリフではありませんが、みなさんの「オトナ人生」はこれから始まるのです！大人になれば高校生の時よりも辛いこともたくさん待ち受けていると思います。でも、1つでも楽しいことがあれば、それでもう100点なんじゃないでしょうか。

ひとつの出来事を「プラス」と取るか「マイナス」と取るかは自分次第。世の中、悪いことばかりではありません。辛く苦しい時こそ、少しでも良いことを見つけて出し、それを糧に進んでいくほうが、私は幸せになれると考えます。みなさんが豊かな人生を歩んでいくことを切に願っています。

保護者の皆様にも、今日の日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。今年度のPTAは学校行事や全国大会などの中止により、例年よりも活動が少なくなつてしまいました。残念な気持ちではございますが、PTA活動を通じて学校や生徒の様子を知り、多岐に渡りサポートして下さった事、感謝いたします。本当にありがとうございます。

贈る言葉

3 学年主任 岡

智哉

月日の流れが、今の君たちを形成するならば、丘珠高校での高校生活は、君たちにとって有意義な時間になったであろうか。卒業の時を迎え、君たちが日々の生活の中で成長し変化していく姿を、共に過ごし感じられたことは素敵な時間でした。

考え方が変化し、物事の捉え方が多角的になり、相手の気持ちを汲み取りながら自分の想いを伝えていくことの、大切さを学んでいる姿。授業、学校行事、部活動など、いろいろな場面で活躍する姿を見るたび、学年が上がるにつれ責任ある立場で取り組んでいる姿を見るたび、誇らしく思いました。

コロナ禍の影響で3年生の活動が制限され、高体連・高文連・高野連・学校祭・体育大会等の今まで挑戦出来たことが中止となり、活動の機会を奪われていく虚無感に負けること無く、立ち上がっていく高校生の力強さ。

試験とは乗り越えることの出来る者へのみ降りかかるといわれている。この時代に、高校生活を過ごしたことは意味がある。この先に、待ち受ける未来につながる何かがある。君たちを見ていくとそう思う。勇気と力をいただいている。

人は誰かの影響を受け、誰かに影響を与えながら生きていく。素晴らしい未来になるよう心から願っている。卒業おめでとう。素晴らしい生徒達へ。



マラソン大会のお手伝いを終えて

PTA副会長 江川さとみ

コロナ禍により様々な行事が中止になる中、モエレ沼公園にてマラソン大会が行われました。肌寒い中での開催となりましたが、天候にも恵まれ賛助会員を含め30名ほどの保護者の参加があり大きなトラブルやケガもなく無事に終える事ができました。ご協力いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

今年度は給水場所を離すなど有効的な給水ができるように工夫してみました。

1・2年生の保護者はコース中に設けた給水所での給水、3年生の保護者はゴールした生徒に飲料水の配布を行いました。

今年度のマラソン大会で印象的だった事がありました。それは、先にゴールした生徒がまだ走っている生徒の応援をしていた姿が見られたことです。また、競技中の給水時やゴール後の飲料水の配布の時に「ありがとうございませう」とお礼を言ってくれる保護者から受け取る生徒の多さにとっても好感が持てました。普段の生活の中で身に付けている様子がわかり、ご家庭でも言葉の大切さを話されているのだらうと感じました。

競技に参加できなかった生徒も運営のお手伝いをして、全員が大会に参加するようになつて良かったと思います。

私は今年度で卒業となるため、行事に参加する事はほぼ無くなります。やり終えた安心感と一抹の寂しさを感じています。

次年度も感染症対策により実施できるかは不透明ではありますが、学校行事の時には普段、見せないような生徒たちの表情を見ることが出来ます。保護者間での交流や親睦の機会でもあり、先生方から子供の様子を聞いたりできる貴重な時間でもあります。出来る範囲で来ます。来年度は是非多くの方が参加できるように努めます。



視察研修に参加して

PTA副会長 今野真里子



10月29日、朝方までの雨も上がり、4名の教職員とPTA12名で視察研修へ出発。北広島市にある「ホクレンくるるの杜」で沢山ある「プログラムの中から」「全粒粉入りスマイルクッキー作り」を体験しました。

工程の説明を受け材料を混ぜ生地をこね形にしています。楊枝で顔を作り、それぞれオリジナルの模様。

クッキーが焼き上がるまで北海道の小麦についてクイズを交えて勉強しました。オーブンから甘い香ばしい匂いが調理室に広がり、焼き上がったクッキーに歓声が上がりました。少しだけ試食をして後はお持ち帰り。昼食は農村レストランでランチビュッフェ。ここでもマスクと手袋で感染予防対策。野菜中心の新鮮なサラダや天ぷら、雑穀米、麺類やお味噌汁、カレーに豆腐、パンやアイス、どれも美味しかったです。

先生方やPTAの方々と情報交換もでき、お腹も心も満たされ直売所で買物も楽しみました。最後に恵庭市にある「北海道ハイテクノロジー専門学校」で、学校説明を受け救急救命士学科の救急車両の中や実習室の見学、義肢装具士学科の義手や義足、装具制作の授業中にお邪魔させて頂き、機材や装具の説明を聞きました。意外にも女子学生が多かったのに驚きました。eスポーツ専攻のプログラミング授業も惹きつけられました。

eスポーツ専攻のプログラミング授業も惹きつけられました。世界が広がったように感じました。沢山の卒業生が道内各地のIT企業や医療現場で活躍していることも伺いました。今年の春には新キャンパスもオープン、充実した施設の周りを囲むように学生寮もありました。今年度はコロナ禍において、参加していただき、本当にありがとうございました。感謝しております。

視察研修を通してお子さんと進路の話をするきっかけになれば幸いです。来年度は是非多くの方が参加できますこと、何より新型コロナウイルスが終息する事を願っております。

吹奏楽部 全国大会で優秀賞受賞!

本校吹奏楽部が「第26回日本管楽合奏コンテスト」全国大会高等学校S部門において見事「優秀賞」に輝き、賞状とトロフィーが贈られました。

また、顧問の三木豊道教諭も「指揮者賞」を合わせて受賞しました。

今年は例年と異なり6月中旬に新1年生を迎え、新メンバーでの活動が始まりました。残念ながら、コロナ禍ですべての演奏機会が無くなりましたが、逆に部員の絆はより一層強くなり、モチベーションが下がることなく活動し続けることができました。

今回、このコンテストに参加し、優秀賞をいただくことができました。これまで支えて下さいました多くの皆様たいへん感謝しております。

今後も、このメンバーで演奏できる喜びをかみしめながら、さらに練習に励んでいきたいと思っております!



令和2年度部活動報告

運動部

【野球部】

春季北海道高等学校野球大会札幌支部予選

Cブロック1回戦

札幌旭岳 8-4 札幌旭岳

準決勝

札幌旭岳 12-2 あすかぜ

決勝戦

札幌旭岳 0-11 札幌旭岳

秋季北海道高等学校野球大会札幌支部予選

Iブロック1回戦

札幌旭岳 0-10 東海札幌

札幌旭岳 0-10 東海札幌

北海道高等学校バスケットボール大会 札幌地区予選

札幌旭岳 73-99 札幌旭岳

2020年度 北海道高等学校バスケットボール選手権大会

札幌地区予選

札幌旭岳 61-71 千歳高校

【男子バレーボール部】

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会

北海道代表決定戦札幌地区予選

予選リーグ 札幌旭岳 2-0 北嶺

決勝トーナメント 札幌旭岳 0-2 札幌旭岳

【女子バレーボール部】

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会

札幌地区予選

札幌旭岳 0-2 北海

札幌旭岳 1-2 札幌旭岳

予選リーグ 札幌旭岳 0-2 札幌旭岳

【男子ハンドボール部】

協会支部 札幌市民スポーツ大会

札幌旭岳 13-11 札幌旭岳

札幌旭岳 16-11 札幌旭岳

協会支部 第44回札幌支部高等学校ハンドボール新人大会

札幌旭岳 6-28 札幌旭岳

【女子ハンドボール部】

協会支部 札幌市民スポーツ大会

札幌旭岳 13-11 札幌旭岳

札幌旭岳 16-11 札幌旭岳

協会支部 第44回札幌支部高等学校ハンドボール新人大会

札幌旭岳 6-28 札幌旭岳

【サッカークラブ部】

全国高校サッカー選手権大会札幌地区予選

1回戦 札幌旭岳 2-0 札幌旭岳

2回戦 札幌旭岳 0-3 札幌旭岳

2020札幌旭岳フットボールリーグ

1節 札幌旭岳 2-19 札幌旭岳

2節 札幌旭岳 1-11 北海学園札幌

3節 札幌旭岳 5-11 立命館札幌

4節 札幌旭岳 2-10 札幌旭岳

5節 札幌旭岳 2-11 札幌旭岳

6節 札幌旭岳 1-13 北海(旭)

【男子バドミントン部】

2020年度 第22回札幌地区バドミントン協会会長杯

ダブルス

加藤 匠人・三上 快晴

0-2 吉原・山本 (千歳) 1回戦敗退

0-2 吉原・山本 (千歳) 1回戦敗退

五十嵐大地・藤堂 恭正

1-2 小林・松見 (江別) 1回戦敗退

シングルス

加藤 匠人 2-1 泉田 (開成中等)

2-1 泉田 (開成中等) 2回戦進出

五十嵐大地 1-2 本間 (札幌厚別)

1-2 本間 (札幌厚別) 1回戦敗退

加藤 匠人 2-0 大西 (南陵)

2-0 大西 (南陵) 3回戦進出

加藤 匠人 2-0 渡邊 (北広島西)

2-0 渡邊 (北広島西) 4回戦進出

加藤 匠人 0-2 西野 (札幌龍谷)

0-2 西野 (札幌龍谷) (ベスト16)

2020年度1年生大会

ダブルス

池上 群・味噌 陽翔

0-2 大道・須田 (千歳)

有馬 龍空・田口 裕登

2-0 立花・落合 (札幌清田)

丸道 豪流・安部 夢都

0-2 入口・山本 (千歳)

中村 直弥・佐々木 涉

0-2 木原・時田 (北海学園大学)

有馬 龍空・田口 裕登

0-2 嶋川・謙渡 (北海道科学大)

シングルス

安居 夢都 2-0 上保 (札幌東)

安居 夢都 2-0 上保 (札幌東)

佐々木 涉 0-2 櫻井 (科学大)

佐々木 涉 0-2 櫻井 (科学大)

中村 直弥 2-0 磯 (千歳北陽)

中村 直弥 2-0 磯 (千歳北陽)

池上 群 0-2 渡邊 (札幌東)

池上 群 0-2 渡邊 (札幌東)

味噌 陽翔 2-0 安藤 (札幌清田)

味噌 陽翔 2-0 安藤 (札幌清田)

丸道 豪流 2-0 須田 (札幌清田)

丸道 豪流 2-0 須田 (札幌清田)

中村 直弥 0-2 新子 (科学大)

中村 直弥 0-2 新子 (科学大)

田口 裕登 0-2 椿 (札幌第一)

田口 裕登 0-2 椿 (札幌第一)

有馬 龍空 2-0 上田 (札幌厚別)

有馬 龍空 2-0 上田 (札幌厚別)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

有馬 龍空 2-0 西村 (札幌白石)

松橋 祐人・長田 祐斗

0-4 北海道科学大高

令和2年度 札幌支部高校新人戦ソフトテニス大会

男子シングルス

伊藤 混斗

1-3 札幌東陵

栗野 快都

2-3 札幌東陵

片岡 海翔

3-1 札幌南

女子シングルス

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

3-1 札幌南

田本 瑚倫

(8月4日・6日・札幌市民ギャラリー)

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

特選

【写真部】

令和2年度 高文連石狩支部写真展

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

入選

【放送局】

第59回 高文連放送コンテスト

朗読部門

7位

2年7組 石橋 陽人

7位

2年4組 菅 彩花

北海道高等学校文化連盟 第43回放送コンテスト

朗読部門出場

2年7組 石橋 陽人

2年7組 菅 彩花

【家庭科部】

第68回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会

ホームプロジェクトの部

「親もも喜ぶ！キッチン作り」

3年 植村羽音

北海道高等学校家庭クラブ研究発表大会

ホームプロジェクトの部

「祖母との暮らしを楽しく豊かに」

2年 平川 沙季

【ボランティア部】

高文連全道第17回全道高等学校ボランティア研究大会

(活動報告をウェブ上に掲載して参加)

令和2年度 高文連石狩支部囲碁将棋秋季大会

1回戦

2回戦

3回戦

4回戦

5回戦

6回戦

7回戦

8回戦

9回戦

10回戦

11回戦

12回戦

13回戦

14回戦

15回戦

16回戦

17回戦

18回戦

19回戦

20回戦

今年度の合格状況

国公立大学(3名)

大 学 名	合格者数
札幌市立大学	2
公立千歳科学技術大学	1

私立大学(64名)

大 学 名	合格者数
北海学園大学	9
北星学園大学	6
北海商科大学	2
北海道科学大学	8
札幌学院大学	4
札幌大学	9
北海道医療大学	2
日本医療大学	5
東海大学札幌キャンパス	1
北海道情報大学	3
北翔大学	6
札幌国際大学	4
酪農学園大学	2
星槎道都大学	1
国際武道大学	1
明海大学	1

短期大学(15名)

大 学 名	合格者数
北海道武蔵女子短期大学	6
札幌大谷大学短期大学部	1
光塩学園女子短期大学	4
北翔大学短期大学部	3
札幌国際大学短期大学部	1

※今年度の数字は、令和3年2月10日現在のものです。
※人数は延べ人数です。

今年度はコロナ禍で、従来どおりの方法とは違う受験を迎えた生徒が多かったです。対面式の面接を急遽web面接に変更、または面接自体を中止にした学校もありました。志望校選びに重要なオープンキャンパスが中止になり、生徒が自主的に志望校のホームページをチェックし、資料請求をして情報収集しなければならず、のんびりと受け身の姿勢でいると試験方法や日程の変更を見過してしまう状況でした。出願方法もweb出願が主流となり、インターネット環境なしでは進学も就職も手続きすらできない時代となりました。

今年度の進路状況については、進学が推薦入試や総合型選抜入試(旧AO入試)を中心に、国公立大学3名、私立大学64名、短期大学15名、専門学校128名が合格しています。また就職は公務員13名、民間就職21名が合格しています。今後大学の一般入試に挑戦する生徒たちの健闘に期待します。

『今年度卒業生の進路状況』

進路指導部長 能瀬 理恵子

このような受験システムの変化は、SNSが生活の一部となっている令和時代の生徒たちにとって、非常に便利になったと言えます。ただ、「百聞は一見に如かず」という言葉とおり、実際にその場に足を運び、自分の目で見て「体験」し、そこから得られる「発見」や「感動」に勝るものはないと思います。今後も教育活動の様々な場面で多くの制限が生じてくるのが予想されますが、生徒が自らの将来展望を抱けるような進路活動を実践していく必要性を感じています。

専門学校(128名)

区 分	合格者数
専門学校(看護)	5
専門学校(看護以外)	123

就職(34名)

区 分	合格者数
公務員	13
民間就職	21

丘珠高校を旅立つ生徒たちが、自ら選んだ「道」に自信を持ち、これから先の新しい世界で大きく羽ばたいてくれることを祈っています。

家庭クラブ
全国大会で優秀賞！

本校2年生の平川沙季さんが、「令和2年度北海道高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会」のホームプロジェクトの部において「祖母との暮らし」をテーマに、研究発表し、見事、最優秀賞に輝きました！これにより平川さんは、令和3年度に開催される「第69回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会」参加の権利を得ました。

放送局
全国大会へ

本校放送局2年生の菅彩花さんが、「北海道高等学校文化連盟第43回放送コンテスト」の朗読部門において見事、入賞第1位に輝き、令和3年度に開催される「全国総文祭放送大会朗読部門」に出場することが決まりました！



編集後記

第44期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、今日の佳き日を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。そして校長先生はじめ教職員の皆様にはいつも温かく見守っていただき、時に厳しくご指導しいただきましたことにお礼と感謝を申し上げます。

今年度は今迄経験したことのないウィルスに脅威を感じ生活様式も一変しましたが、短い高校生活のなかで経験するはずであった各行事や部活動の大会などが延期・中止となり、不完全燃焼の大会なども多いことでしょう。しかし、子どもたちはこの逆境に立ち向かい、明るく逞しく成長していることと致し。この一年の経験はこの先の人生の中で、きっと役に立つことかと思えます。

後期の本誌は、コロナ禍にあり会議も難しい中、縮小版となりましたが、マラソン大会など子どもたちの元気な姿を掲載することができました。来年度は保護者の皆様に子どもたちの高校での生活をよりたくさんお伝えできるよう、努力してまいります。

最後に今年度も丘珠高だよりを無事に発行することができました。発行にあたり、ご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

四月からの新しい一年が、皆様並びに丘珠高校にとって、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

